

市町村税徴収事務②

＜地方公共団体金融機構と共催＞

地方税法や国税徴収法等の法令理解、財産調査・差押え・納税者折衝等の実務に関する講義、演習等により、市町村税徴収事務に必要な専門的知識とスキルの習得を目指します。

日 程	令和8年11月24日(火) ～ 12月4日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上 市町村税徴収事務について1年以上の実務経験を有する職員を対象		
定 員	100人		
受講費	47,300円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年9月1日(火)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部 TEL 043-276-3126 URL https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php		

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、予め御承ください。
※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の
ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

11月24日／火

13:15 – 14:45	入所	15:00 –	開講式・オリエンテーション
16:30 –	納税者折衝（事前討議）		演習班に分かれ、納税者折衝事例等の討議を行います。

11月25日／水

9:00 – 12:00	地方税法総則（講義） 公益財団法人東京税務協会専門講師 斎藤 博史 氏	納税義務の成立と確定、徴収権の消滅時効、書類の送達・公示送達について学びます。
13:00 – 17:00	交渉力の向上を目指して（講義・演習） (株)ソタワル木代表取締役 工藤 邦彦 氏	自主納付を増やし、差押えや搜索の件数を減少させるため、滞納整理における交渉の心構え、聞く技術（傾聴）と伝える技術（アサーティブコミュニケーション）を学びます。
17:00 – 17:45	納税者折衝（事前討議）	演習班に分かれ、納税者折衝事例等の討議を行います。

11月26日／木

9:00 – 10:35	徴収事務のマネジメント（講義） 税理士、神奈川県川崎市財政局収納対策部 収納対策課滞納整理指導嘱託員 中山 裕嗣 氏	徴税事務の対象者は様々であり、それぞれに対して、効果的・効率的に徴収業務を進めていくためには、目標を立て、組織をマネジメントしていく中堅職員の役割が重要です。研修生がその役割を果たせるようになるための知識を学びます。
10:50 – 17:00	国税徴収法の実務（講義） 税理士、神奈川県川崎市財政局収納対策部 収納対策課滞納整理指導嘱託員 中山 裕嗣 氏	地方税の滞納処分に関する基本法である国税徴収法について学びます。

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagagin/>

JAMP Newsletter

検索

11月27日／金

9:00 - 15:35

財産調査の進め方、差押手続のポイント（講義）

神奈川県相模原市財政局税務部債権対策課
総括副主幹

宮崎 大 氏

差押財産の特定のための有効な調査方法、差押えの要件・効力・手続、搜索の方法等について、事例をもとに学び、より実践的な知識・スキルを身につけることを目指します。

15:50 - 17:45

納税者折衝（事前討議）

演習班に分かれ、納税者折衝事例等の討議を行います。

11月30日／月

9:00 - 12:00

行政対象暴力への対応（講義・演習）

千葉県総務部総務課行政対象暴力対策室

行政に対する違法又は不当な行為への対応方法について習得することにより、徴税吏員を組織として守るとともに、遺憾なく職責を発揮できる体制づくりを図ります。

13:00 - 16:00

納税者折衝のポイント（講義・演習）

公益財団法人東京税務協会専門講師

川口 克彦 氏

公益財団法人東京税務協会専門講師

吉原 敏夫 氏

納税交渉の仕方について、事例をもとにトラブル対応における留意点についての講義と、研修生によるロールプレイングを交えながら学びます。

16:15 - 17:45

課題演習（討議）

演習班に分かれて、課題についてグループ討議を行います。

12月1日／火

9:00 - 15:35

分納、滞納処分猶予・停止、延滞金の取扱いについて（講義）

静岡市財政局税務部滞納対策課主査

平岡 拓馬 氏

徴収事務の基本的な業務である分納、滞納処分の猶予・停止、延滞金の取扱い等につき、その趣旨・目的や相互関係等を掘り下げて検討し、かつ、具体的なケースを交えながら実務に即して学びます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

演習班に分かれて、課題についてグループ討議を行います。

12月2日／水

9:00 - 17:00

民事・家事裁判手続、相続承継に関連する滞納整理（講義）

弁護士、自治体支援弁護士プロジェクトチーム代表

瀧 康暢 氏

給料差押えに応じない事業主、相続による滞納税の承継、相続預金・不動産の差押え（相続財産清算人申立含む）、代表者死亡・倒産・廃業法人の滞納処分等、徴収困難事例における法的対応について具体的な方法を学びます。

地方自治体職員

調整中

講義の中で、地方自治体における具体的な事例を紹介します。

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

演習班に分かれて、課題についてグループ討議を行います。

12月3日／木

9:00 - 12:00

生活再建型滞納整理（レクチャー＆フォーラム）

徳島県企画総務部県税局徳島支所課長補佐

山口 明大 氏

滞納の背景にある個々の状況を把握し、その根本原因が解消されるよう働きかけることは、持続可能な徴収につながります。本講義では、徳島県美馬市の実践事例を紹介します。

13:00 - 17:45

課題演習（討議）

演習班に分かれて、課題についてグループ討議を行います。

12月4日／金

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

公益財団法人東京税務協会専門講師

川口 克彦 氏

公益財団法人東京税務協会専門講師

青柳 進 氏

各研修生が持ち寄った課題について討議した内容を発表し、研修生同士で質疑を行い、講師から講評をいただきます。

12:10 -

修了式

政策の最先端

地方創生、デジタル化、データ活用など、市町村をめぐる最先端の政策を学ぶことにより、社会経済情勢の変化に的確に対応できる政策立案能力の向上を目指します。

日 程 令和8年11月24日(火) ～ 11月26日(木)

場 所 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 千葉市美浜区浜田1丁目1番地

対 象 中堅職員以上

定 員 50人

受講費 14,600円 ※左記受講費は予定となります。
決定金額は受講決定通知にてお知らせします。

申込期限 令和8年9月1日(火)

申込方法 市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください
市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。
※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。

お問い合わせ 市町村職員中央研修所研修部
TEL 043-276-3126
URL <https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php>

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、予め御了承ください。

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

11
月
24
日
／
火

11:00～12:40 入所 13:10～ 開講式・オリエンテーション

14:00～15:25

共創による地域づくりの推進（講義）

高崎経済大学地域政策学部教授・大学院地域政策研究科長

櫻井 常矢 氏

高齢化と人口減少が進むなか、自立した地域づくりはいかにして可能なのか。その際、行政にはどのような役割が求められるのか。地域運営組織（RMO）等の最新動向や行政―地域間の構造的課題を踏まえつつ、地域への関わり方について学びます。

15:40～17:00

共生・共助社会における市町村の役割（講義）

内閣府共生・共助担当

年齢・障害等に関わりなく安全・安心に暮らせ（共生）、互いに支え合う（共助）社会の実現に向けた市町村の役割について学びます。

11
月
25
日
／
水

9:00～10:25

選ばれる組織へ～働き方のアップデート～（講義）

千葉商科大学基盤教育機構教授

常見 陽平 氏

人材確保を喫緊の政策課題と捉え、選ばれる組織となるために不可欠な『働き方のアップデート』について理解し、組織文化を転換する意義を学びます。

10:40～12:00

自治体DXの推進～生成AIをどう捉えるか～（講義）

総務省自治行政局市町村課長、前内閣官房デジタル行財政改革会議事務局参事官

浦上 哲朗 氏

行政業務への生成AIの導入が進む中、AIを過大にも過小にも捉えず正しく理解し、業務における向き合い方を基礎から学びます。

13:00～14:20

広域連携の推進（講義）

総務省自治行政局市町村課長、前内閣官房デジタル行財政改革会議事務局参事官

浦上 哲朗 氏

自治体単独では解決困難な地域課題に対応するため、自治体間での『広域連携』を選択・活用する意義を学びます。

14:35～17:45

課題解決フォーラム

各自治体の現状や課題について、数人のグループに分かれて意見交換を行います。

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/>

JAMP Newsletter

検索

11月26日／木

ナッジを活用した政策イノベーション (講義)

津田 広和 氏

データで読み解く人口減少～有意性の高い少子化対策への転換～（講義）

人口減少・少子化の実態を正しく理解し、自治体における人口減少対策について、統計データに基づきながら、施策立案の考え方を学びます。

天野 馨南子 氏

12:10 - 修了式

```

graph TD
    A["JR東京駅から  
(From Tokyo Station)"] --> B["JR総武線  
「幕張本郷駅」"]
    A --> C["JR京葉線  
「海浜幕張駅」"]
    B -- OR --> D["路線バスに乗り換え"]
    C -- OR --> D
    D --> E["「市町村アカデミー」で下車"]
  
```



JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車

路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、「研修のしおり」をご覧ください。



Memo

This image shows a full page of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, leaving small margins at the top and bottom. There are no vertical margin lines, text, or other markings on the page.

ひとり親家庭等相談支援に悩む 職員・相談員向け講座

ひとり親家庭等を支援する上での課題や離婚にまつわる様々な法制度（離婚手続き、親権、養育費の請求、面会交流など）、様々な支援策（各種手当、就労支援、学習支援等）について学ぶとともに、相談に従事する者同士で支援内容を共有することで、支援の質の向上を目指します。

日 程 令和8年11月24日(火) ～ 11月26日(木)

場 所 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 千葉市美浜区浜田1丁目1番地

対 象 上記相談業務に従事する職員・相談員等

定 員 40人

受講費 14,600円 ※左記受講費は予定となります。
決定金額は受講決定通知にてお知らせします。

申込期限 令和8年9月1日(火)

申込方法 市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください
市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。
※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。

お問い合わせ 市町村職員中央研修所研修部
TEL 043-276-3126
URL <https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php>

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、予め御承ください。

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

11
月
24
日
／
火

11:00～12:40 入所 13:10～ 開講式・オリエンテーション

14:00～15:00

ひとり親家庭等への支援について（講義） ひとり親家庭等を取り巻く状況や制度動向について学びます。

こども家庭庁支援局家庭福祉課

15:10～16:10

困難な問題を抱える女性への支援について（講義） 女性支援事業の概要や女性相談支援センターの機能などについて学びます。

厚生労働省社会・援護局女性支援室

16:20～17:10

相談支援の心構え（講義）
公益社団法人家庭問題情報センター
主任研究員

長谷川 哲也 氏

相談者に寄り添った適切な支援の提供を目指し、心理的支援を提供する上で必要となる心構え（傾聴・共感する姿勢や相談者のプライバシー保護等）について学びます。

11
月
25
日
／
水

9:00～12:00

改正民法解説（講義） 令和8年4月1日に施行された改正民法について、改正の経緯や、どのように変わったのか、また、支援・助言する上で、注意すべきことは何かなどを学びます。

**相談支援に必要な法手続きの
基礎知識と助言のポイント（講義）**

相談支援を行うにあたり、習得しておくべき法律知識を再確認するとともに、窓口対応時の助言ポイントを弁護士の視点から学びます。

鈴木牧子法律事務所 弁護士

中溝 明子 氏

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

11月25日／水

13:00 - 14:10

事例紹介① (レクチャー&フォーラム)

仙台市こども若者局子育て支援推進部
こども支援給付課 課長

高橋 仁 氏

自治体の予算や人員に制約がある中でも、現場の声や地域のニーズを踏まえた支援施策を展開している自治体の事例を学びます。今回は、2025年に第1回ひとり親家庭支援施策自治体事業アワードを受賞した仙台市における「ひとり親サポートブック『うえるびい』、『うえるびいmini』」配布事業などの事例について紹介します。

14:25 - 15:35

事例紹介② (レクチャー&フォーラム)

母子生活支援施設 ルフレ八尾
マネージャー

中尾 愛 氏

母子生活支援施設は、入所者の生活・就労・心理面を含めた包括的支援を行っている現場であるとともに、行政からの接続先としても極めて重要な役割を担っています。その現場の声を聞くことにより、制度理解に留まらない、寄り添った支援の在り方について学びを深めます。

15:50 - 17:00

課題解決フォーラム① (意見交換)

公益社団法人家庭問題情報センター
主任研究員

長谷川 哲也 氏

事前に参加者から提出された課題について、意見交換を行うとともに、必要に応じて講師の方から助言をいただきます。

11月26日／木

9:00 - 11:00

支援者のメンタルヘルス対策 (講義・演習)

カウンセリング&サポートサービスN
カウンセラー・公認心理師

高山 直子 氏

相談内容の多様化・複雑化に加え、相談件数も増加の一途をたどる中、支援者自身のメンタルケアがこれまで以上に重要視されています。支援業務に従事する職員の心理的負担を軽減するため、参加型ワークを通してストレスとうまくつき合う自分スタイルを発見し、支援する側が疲弊しないための考え方や意識について共有します。

11:15 - 12:00

課題解決フォーラム② (情報交換)

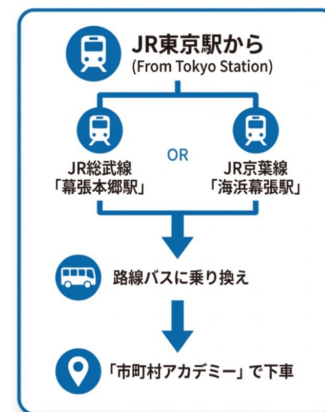
日頃の業務で気になっていることや、他の自治体に聞いてみたいことなどについて情報交換し、日々の業務に活かせるヒントを持ち帰っていただきます。

12:10 -

修了式

Memo

研修所へのアクセス



JR東京駅から
JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

羽田空港から
高速バス 海浜幕張駅で下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

来所には公共交通機関をご利用ください

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、
「研修のしおり」をご覧ください。
<https://www.jamp.gr.jp/students/guidance/>



教育現場のD X

G I G Aスクール構想における市町村の役割やデジタル時代を踏まえた様々な教育・学習手法、教育の在り方等に関する講義、事例紹介等により、市町村行政における教育現場のD Xについて理解を深め、I C Tを活用した教育施策の推進に向けた実務遂行能力の向上を目指します。

日 程	令和8年11月30日(月) ～ 12月4日(金)	
場 所	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 千葉市美浜区浜田1丁目1番地	
対 象	中堅職員以上 教育委員会事務局や情報政策担当課の職員のほか、学校現場の教職員も対象	
定 員	40人	
受講費	23,650円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。
申込期限	令和8年9月1日(火)	
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。	
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部 TEL 043-276-3126 URL https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php	

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、予め御承ください。

※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

11月30日／月	13:15 - 14:45	入所	15:00 -	開講式・オリエンテーション
	16:30 -	課題演習（討議）		数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。
12月1日／火	9:00 - 10:25	我が国の教育課程上の課題とG I G Aスクールの意義・実践（講義）		次期教育課程の検討の方向性を理解し、そのことと教育DXとの関係について理解を深めます。
		文部科学省初等中等教育局教育課程課長、GIGA StuDX推進チームディレクター（副） 武藤 久慶 氏		
	10:40 - 12:00	産業界と教育現場の連携・協働による価値創造人材の育成（講義・演習）		産業界と教育現場の協働を通じた人材の戦略的な育成の重要性について学びます。産業界のリソースを活用した多様な学びの充実や、両者をつなぐコーディネート機能に着目した仕組みづくり、持続的なエコシステムの構築等について理解を深めます。
		経済産業省商務・サービスグループサービス政策課教育産業室		
	13:00 - 17:00	学校D Xの実現に向けた学びのデザイン（講義・演習）		学校DXの実現に向けて、学びのDXと校務のDXのあり方から校舎建築まで、何を、何のために変えなければいけないのかを考えていきます。
		合同会社未来教育デザイン代表社員 平井 聡一郎 氏		
	17:00 - 17:45	課題演習（討議）		
12月2日／水	9:00 - 10:20	事例紹介～教育委員会～（講義）		教育委員会として教育D Xにかかる取組事例を紹介します。
		鹿児島市教育委員会教育DX担当部長 木田 博 氏		

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

10:35 - 12:00

事例紹介～学校現場～（講義）

元学校法人堀井学園横浜創英中学・高等学校理事・校長

工藤 勇一 氏

学校現場として教育D Xにかかる取組事例を紹介します。

13:00 - 15:35

授業と校務のD Xの実現（講義）

Canva Japan Canva Education Senior Manager

坂本 良晶 氏

働き方の思考を変えて、教職員によるICTの活用と校務にかかる業務効率化について学びます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

9:00 - 12:00

STEAM教育による横断的な学習の推進（講義・演習）

一般社団法人STEAM JAPAN代表理事、株式会社Barbara Pool代表取締役

井上 祐巳梨 氏

急速に変化する社会において価値あるものを創りだせる人材の育成が求められるなか、文理の枠を超えて、横断的に学習するSTEAM教育の必要性を理解するとともに、ICTを活用したSTEAM教育の取組について事例に基づき学びます。

13:00 - 14:10

教育D X導入のその先に（講義）

合同会社かんがえる代表

五十嵐 晶子 氏

ICT支援員の活用を中心に、教育D Xの円滑な導入、並びに効果的な利用促進のために、基礎的観点から必要となるデジタルリテラシーや適切なデジタルツールの使い方、さらには教員利用の観点から、学校や教員におけるD X格差の解消や校務のデジタル化による業務効率化などについて学びます。

14:25 - 17:45

課題演習（討議）

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

合同会社未来教育デザイン代表社員

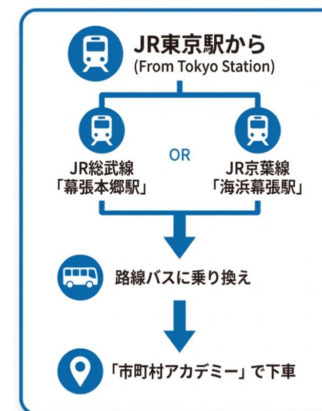
平井 聡一郎 氏

事前に提出した課題について班ごとに討議し、その討議結果を資料にまとめ、発表し、講師から講評をいただきます。

12:10 - 修了式

Memo

研修所へのアクセス



JR東京駅から
JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車

路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

羽田空港から
高速バス 海浜幕張駅で下車

路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

来所には公共交通機関をご利用ください

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、
「研修のしおり」をご覧ください。
<https://www.jamp.gr.jp/students/guidance/>



12月3日／木

12月4日／金

地域産業の振興

地域ブランドの育成・定着やマーケティング戦略、中小企業支援、人材育成等に関する講義、演習等により、地域産業の振興に必要な専門的知識の習得と実務遂行能力の向上を目指します。

日 程	令和8年11月30日(月) ～ 12月4日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上		
定 員	40人		
受講費	24,000円(予定)	※左記受講費は予定額となります。本研修で実施する実地研修時の昼食代を含めた最終的な決定金額を、受講決定通知にてお知らせする予定です。	
申込期限	令和8年9月1日(火)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部		
	TEL	043-276-3126	
	URL	https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php	

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、予め御了承ください。
※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の
ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

11月30日／月	13:15 – 14:45	入所	15:00 –	開講式・オリエンテーション
	16:30 –	課題演習（討議）	数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。	
12月1日／火	9:00 – 12:00	地域産業の振興と自治体の役割（講義）	地域経済の現状・課題や地域産業の意義・課題、自治体の役割について学びます。また、これからの自治体の産業振興担当者に求められる人材像や人材育成について理解します。	
		実践女子大学人間社会学部教授 吉田 雅彦 氏		
	13:00 – 15:35	地域産業のマーケティング（講義）	環境変化が激しく、不確実性の高い現代において、自治体の「稼ぐ力」を高めるために必要となるマーケティングについて、考え方、手法、事例等を学びます。	
		総務省総務事務官、前日本郵便株式会社地域共創事業部長、元愛媛県西条市副市長、元国土交通省半島振興室長 出口 岳人 氏		
	15:50 – 17:00	金融機関と連携した地域産業振興（講義）	持続可能な事業とするための資金調達の手法や、収益性確保の考え方等について、千葉県香取市の事例を基に学びます。	
		香取市地域力創造アドバイザー、総務省地域力創造アドバイザー、千葉経済大学非常勤講師 根津 久一郎 氏		
	17:00 – 17:45	課題演習（討議）		

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

12月2日／水

9:00 - 12:00

地域における連携・協働による産業振興（講義）

株式会社studio-L

洪 華奈 氏

地域における人と人のつながりや協働の仕組みをデザインし、持続可能な地域社会を共創し、地域資源や産業の持続的・自立的な発展を目指すコミュニティデザインの考え方と事例について学びます。

13:00 - 15:00

地域の問題解決なんて(ここにいる皆様を含めた)恵まれた人の道楽だよという話（講義）

株式会社ことろど代表取締役

田鹿 倫基 氏

積極的な企業誘致と民間連携、地域資源を生かしたまちづくり等、自治体の「稼ぐ力」を高めるために、自治体職員の立場からどのような取り組みができるのかを学びます。

15:15 - 17:00

地域発展のための官民共創とエコシステムの構築（講義）

イオンリテール株式会社

執行役員開発・建設本部長

中本 太郎 氏

商業施設の出店事例から、民間企業の投資基準やコスト構造を理解し、行政課題の解決と企業の経済活動を両立する「官民共創」の具体的なスキームを学びます。民間企業の力を呼び水として、地域の安心安全、福祉、雇用を網羅した持続可能な自治体経営を実現する視座を養います。

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

12月3日／木

8:30 - 9:30 実地研修場所へ移動

※当研修所でバスを用意します。

9:30 - 14:30

千葉県香取市佐原に学ぶ、観光推進による産業の振興（講義・実地研修）

香取市地域力創造アドバイザー、総務省地域力創造アドバイザー、千葉経済大学非常勤講師

根津 久一郎 氏

地域課題に対し、自治体・産業・住民がどのように手を組み現在に至るまで取り組んできたのか、また自治体側がどのようなアクションを行ってきたのか、現地で見えて感じ学びます。

14:30 - 15:30 市町村アカデミーへ移動

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

12月4日／金

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

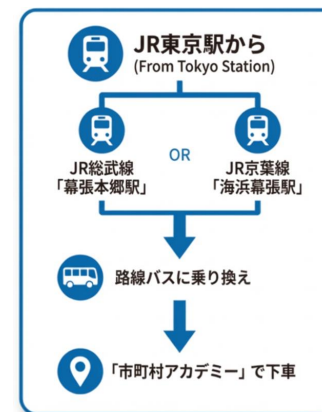
実践女子大学人間社会学部教授

吉田 雅彦 氏

課題演習で実施した班別討議の内容を班ごとに発表し、講師から講評をいただきます。

12:10 - 修了式

研修所へのアクセス



JR東京駅から
JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

羽田空港から
高速バス 海浜幕張駅で下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

来所には公共交通機関をご利用ください

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、「研修のしおり」をご覧ください。
<https://www.jamp.gr.jp/students/guidance/>



訴訟と行政不服審査の実務

自治体に関わる法的紛争や予防法務、訴訟実務のポイント、行政不服審査等に関する講義、演習等により、法的危機管理能力の向上を目指します。

日 程	令和8年12月7日(月) ～ 12月11日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上 法務事務を担当する職員のほか、以下を対象 ・ 法的紛争が生じやすい分野（建築、道路、税務、福祉等）の事務を担当する職員 ・ 団体の事務を総覧しやすい立場の部署（総務、人事、財政、監査等）に属する職員		
定 員	50人		
受講費	23,650円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年9月1日(火)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部 TEL 043-276-3126 URL https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php		

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、予め御承ください。
※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の
ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

12月7日／月

12月8日／火

12月9日／水

13:15 – 14:45	入所	15:00 –	開講式・オリエンテーション
16:30 –	課題演習（討議）		数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。
9:00 – 12:00	行政不服審査法の要点		行政不服審査法の基礎的な内容から、全部改正に係る経緯そして総務省での今後の見直しの検討を経た近時の状況などを学びます。
13:00 – 17:00	自治体に関わる訴訟		自治体に関わる訴訟について、行政訴訟の種類、住民訴訟、民事訴訟の訴えの種類などのしくみのほか、訴訟事務を遂行する上で必要な知識について学びます。
17:00 – 17:45	課題演習（討議）		
9:00 – 15:35	自治体の訴訟実務のポイントと予防法務		自治体の訴訟実務のポイントとともに、紛争を未然に防ぐ予防法務の基本的な考え方について学びます。
15:50 – 17:45	課題演習		受講者提出の課題演習資料を踏まえて講師が指定する課題についてグループ討議をし、講師による巡回指導をいただきます。

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

12月10日／木

9:00 - 12:00

自治体職員に求められる リーガルマインド（法的思考）

徳島県小松島市法務監、弁護士

中村 健人 氏

争訟事案の処理に当たって自治体の職員に求められる法的思考の基礎について学びます。

13:00 - 15:35

行政不服審査実務のポイント

徳島県小松島市法務監、弁護士

中村 健人 氏

行政不服審査実務のポイントについて学びます。

15:50 - 17:00

課題演習（討議）

徳島県小松島市法務監、弁護士

中村 健人 氏

受講者提出の課題演習資料を踏まえて講師が指定する課題についてグループ討議をし、講師による巡回指導をいただきます。

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

12月11日／金

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

徳島県小松島市法務監、弁護士

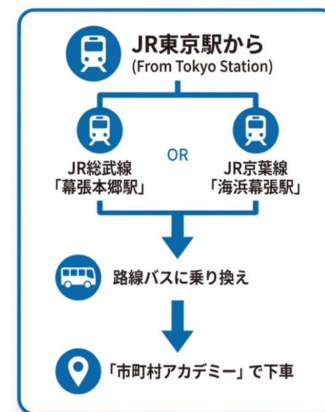
中村 健人 氏

課題に対する討議結果を班ごとに発表し、講師から講評をいただきます。

12:10 - 修了式

Memo

研修所へのアクセス



JR東京駅から
JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

羽田空港から
高速バス 海浜幕張駅で下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

来所には公共交通機関をご利用ください

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、
「研修のしおり」をご覧ください。
<https://www.jamp.gr.jp/students/guidance/>



事業推進のためのデータ活用

住民サービスの向上やデータに基づく政策立案等に取り組むため、官民が保有する多様なデータの有効活用の必要性や活用事例、データを活用した課題解決やICTによる業務効率化の検討手法等について学びます。

日 程	令和8年12月7日(月) ～ 12月11日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上		
定 員	50人		
受講費	23,650円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年9月1日(火)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部 TEL 043-276-3126 URL https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php		

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、予め御承ください。
※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の
ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

12月7日／月	13:15 – 14:45	入所	15:00 –	開講式・オリエンテーション
	16:30 –	課題演習（討議）	数人の演習班に分かれ、各市町村が直面する政策課題をテーマとして、自主的なグループ討議を行います。	
12月8日／火	9:00 – 14:10	ロジックモデルによる政策立案・評価（講義・演習）	EBPMの前提として、政策効果に関する因果仮説を「ロジックモデル」として描いておくことが重要です。EBPMでは、このロジックモデルが実際のデータ等によって裏付けられるかどうかを検証します。本講義では、政策効果の検証だけでなく、評価指標の導出、ロジックモデルによるマネジメントや事業の見直し、参加型評価の効用などについて解説します。	
	14:25 – 15:35	RESAS（地域経済分析システム）、RAIDA（地方創生データ分析評価プラットフォーム）の活用（講義）	地方公共団体の政策立案におけるデータ活用を支援する、RESAS（地域経済分析システム）およびRAIDA（地方創生データ分析評価プラットフォーム）の概要と、実務で役立つ基本的な活用方法を学びます。	
	15:50 – 17:45	課題演習（討議）		
12月9日／水	9:00 – 12:00	公務員のかんたんデータ活用術（講義）	自治体職員である講師が実務で活用してきた豊富なデータ分析を題材にしながら、明日から誰でも簡単にできるデータ分析方法と政策への活かし方を学びます。	
	13:00 – 15:35	EBPMの実践～データで伝えるエビデンスと対話～（講義）	EBPMの実践に向け、データを政策判断や事業改善に活かすための考え方を学びます。費用や効果を整理し、指標として捉えながら検討する視点や、データを根拠とした意思決定、住民との合意形成の進め方について理解を深めます。	

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagagin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

12月9日／水

15:50 - 17:00

事例紹介（レクチャー＆フォーラム） ～人口8.5万自治体が取り組むEBPM 推進サイクルの構築～

岐阜県関市財務部行政情報課デジタル推進室主事
脇田 洋平 氏

岐阜県関市におけるEBPMの推進に向けたデータ利活用の取組について学びます。データを活用した行政運営の推進や、組織内での活用定着に向けた体制づくりなど、EBPMを効果的に進めるための考え方やポイントについてご紹介いただきます。

17:00 - 17:45

課題演習（討議）

12月10日／木

9:00 - 12:00

活用事例から学ぶe-Stat、jSTAT MAPの使い方（講義・演習）

総務省統計局（組織対応）

「政府統計の総合窓口（e-Stat）」や「地図で見る統計（jSTAT MAP）」を用いた統計データの利活用方法について、具体的な活用事例を踏まえながら学びます。

13:00 - 15:35

統計学に基づくデータ分析のポイント （講義・演習）

和から(株)経営企画室
室長兼データサイエンティスト
岡崎 凌 氏

アンケートの分析方法、量的データと質的データの要約、平均や標準偏差を活用した分析手法、データ間の関連性を調べる方法、データ分析の流れと実践方法等について学びます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

12月11日／金

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

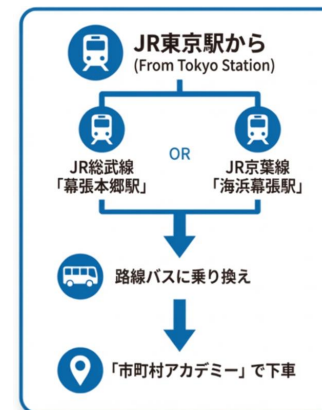
高崎経済大学地域政策学部・大学院地域政策研究科教授、高崎経済大学地域科学研究所所長
佐藤 徹 氏

各班の討議結果を全員の前で発表用レジュメを用いて順次発表し、質疑応答や意見交換を行い、講師から講評をいただきます。

12:10 - 修了式

Memo

研修所へのアクセス



JR東京駅から
JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

羽田空港から
高速バス 海浜幕張駅で下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

来所には公共交通機関をご利用ください

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、
「研修のしおり」をご覧ください。
<https://www.jamp.gr.jp/students/guidance/>



使用料等の債権回収 ＜地方公共団体金融機構と共催＞

水道料金、下水道使用料、公営住宅の家賃等税外収入金の法的性格、債権の管理及び回収に関する講義、演習等により、使用料等に係る債権の回収について必要な専門的知識の習得と実務遂行能力の向上を目指します。

日 程	令和8年12月7日(月) ～ 12月11日(金)		
場 所	市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 千葉市美浜区浜田1丁目1番地		
対 象	中堅職員以上		
定 員	50人		
受講費	23,650円	※左記受講費は予定となります。 決定金額は受講決定通知にてお知らせします。	
申込期限	令和8年9月1日(火)		
申込方法	市町村アカデミー「WEBポータルサイト」からお申込みください 市町村アカデミーホームページ右側に表示される「申し込みはこちら」をクリックして開いた「WEBポータル」からお申し込みください。 ※「WEBポータル」のご利用にあたっては、アカウントの作成が必要となります。		
お問い合わせ	市町村職員中央研修所研修部		
	TEL	043-276-3126	
	URL	https://www.jamp.gr.jp/inquiry/ps-contact/inquiry/index.php	

※記載内容は、都合により変更となることがありますので、予め御了承ください。
※研修開始の約1週間前に「WEBポータル」を通じて「時間割」を掲示しますので、最新情報をご確認ください。

研修の
ペーパーレス化

研修受講にあたっては、講義資料等の指定された電子データを「WEBポータル」から予めノートPC等の端末にダウンロードしたうえで持参してください。
持参した端末は、演習班ごとに課題演習の発表資料を作成する際にも使用します。
端末の持参が難しい場合は、講義資料等を紙に印刷して持参してください。

Time Schedule

12月7日／月

13:15 – 14:45	入所	15:00 –	開講式・オリエンテーション
16:30 –	課題演習（討議）	数人の演習班に分かれ、課題について自主的なグループ討議を行います。	

12月8日／火

9:00 – 12:00	自治体債権管理・回収に係る基礎知識と今後のあり方（講義）	債権管理に関する法体系や基本的な進め方について理解を深めるとともに、滞納債権の回収に関する根拠法令や方法、手続き等の習得を目指します。	
	弁護士 羽根 一成 氏		
13:00 – 17:00	地方公共団体の債権管理一元化～一元化のメリットと導入テクニック～（講義）	徴収一元化の導入方法、債権管理一元化のメリット、効果的な債権回収等、豊富な実務体験に基づく講義により、実践的な対応について学びます。	
	地方公共団体債権管理コンサルタント 永嶋 正裕 氏		
17:00 – 17:45	課題演習（討議）		

12月9日／水

9:00 – 15:35	非強制徴収公債権、私債権の適正管理・回収の実務～自治体債権の管理・回収の必須業務、怠る事実の責任、各種債権ごとの債権管理の留意点、消滅時効の基礎知識、費用倒れ債権の処理、破産債権の取扱い、連帯保証人への請求、納付交渉・電話催告のポイント～（講義）	自治体債権の適正管理の基本原則等を踏まえ、債権の発生から消滅までの流れ、時効管理、少額債権、破産債権の取扱い、納付交渉による債権回収の要点などについて学びます。	
	弁護士、自治体支援弁護士プロジェクトチーム代表 瀧 康暢 氏		
15:50 – 17:45	課題演習（討議）		

研修のご案内は「JAMP Newsletter」でも配信しています。

<https://www.jamp.gr.jp/issue/mailmagazin/>

JAMP Newsletter

検索

Time Schedule

12月10日／木

9:00 - 12:00

非強制徴収公債権、私債権の適正管理・回収の実務

～裁判手続きを利用した債権回収、私債権の財産調査・税情報の共有～（講義・演習）

弁護士、自治体支援弁護士プロジェクトチーム代表

瀧 康暢 氏

訴訟手続きによる債権回収の具体的な進め方、その効果と留意点および私債権の財産調査、税務情報の提供・利用について学びます。

13:00 - 14:10

支払督促申立を利用した債権回収（事例紹介）

弁護士、自治体支援弁護士プロジェクトチーム代表

瀧 康暢 氏

地方自治体における支払督促を利用した債権回収について具体的な事例を通して学びます。

14:25 - 15:35

非強制徴収公債権、私債権の適正管理・回収の実務

～生活困窮債権の放棄基準、生活再建型滞納整理～（講義・演習）

弁護士、自治体支援弁護士プロジェクトチーム代表

瀧 康暢 氏

自治体債権の適正管理の基本原則等を踏まえ、生活困窮者からの徴収・債権放棄および生活再建支援について学びます。

15:50 - 17:45

課題演習（討議）

12月11日／金

9:00 - 12:00

課題演習（発表・講評）

地方公共団体債権管理コンサルタント

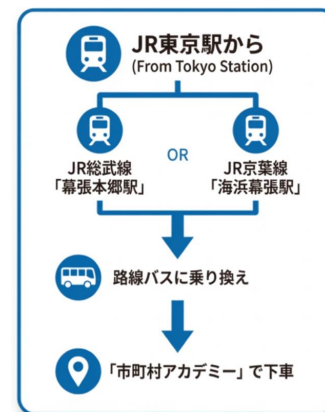
永嶋 正裕 氏

各班の討議結果を発表し、質疑応答や意見交換を行います。その後、講師から講評をいただきます。

12:10 - 修了式

Memo

研修所へのアクセス



JR東京駅から
JR総武線 幕張本郷駅
または
JR京葉線 海浜幕張駅 下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

羽田空港から
高速バス 海浜幕張駅で下車
▼
路線バスに乗り換え
「市町村アカデミー」下車

来所には公共交通機関をご利用ください

研修に関する準備物や研修所内での過ごし方については、
「研修のしおり」をご覧ください。
<https://www.jamp.gr.jp/students/guidance/>

